

投資家の皆様へ

2005年6月期(中間)決算説明会資料



夢をひとつに。



朝日インテック株式会社

(証券コード：7747)

目 次

1. 2005年6月期(中間)決算の概要

2. 2005年6月期(通期)業績見通し

3. 「中期経営計画06-08」

ご参考:当社に関する基礎資料

プロフィール

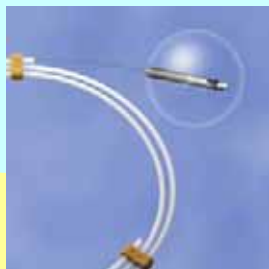
社名	朝日インテック株式会社
本社	名古屋市 守山区 脇田町 1703番地
代表者	代表取締役社長 宮田 尚彦
設立	1976年7月8日 (現在第29期目)
事業内容	・医療機器の製造販売 ・極細ステンレスワイヤロープ並びに 末端加工品等の製造・販売
資本金	2,397百万円(2004年12月末現在)
連結子会社	ASAHI INTECC (THAILAND) CO.,LTD フィルメック(株) ASAHI INTECC USA, INC. (2004年7月設立)
従業員数	236名(単体)、1,174名(連結)(2004年12月末)

開発・生産・販売拠点 (日本と海外の住み分け)

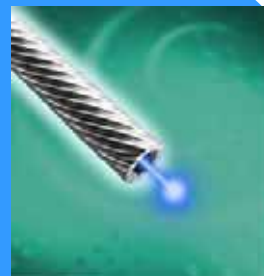


当社の事業分野・事業セグメント

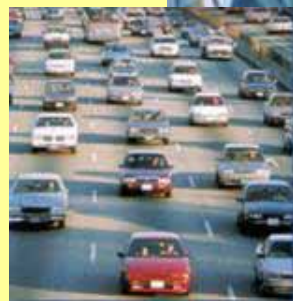
■ メディカル事業



医療機器分野



産業機器分野



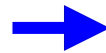
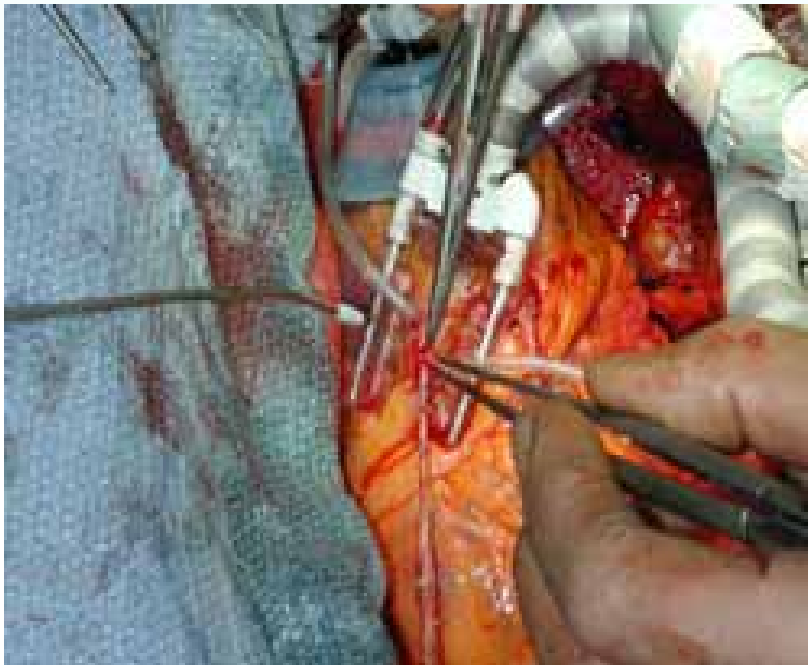
■ インダストリアルデバイス事業

■ メディカルデバイス事業

低侵襲治療 (PTCA治療) とは

患者の**精神的・身体的負担を最小限に抑える**為に、**開腹・開胸する事無く、太腿や手首の血管を通じて治療**を行う。

<外科的治療>
バイパス手術

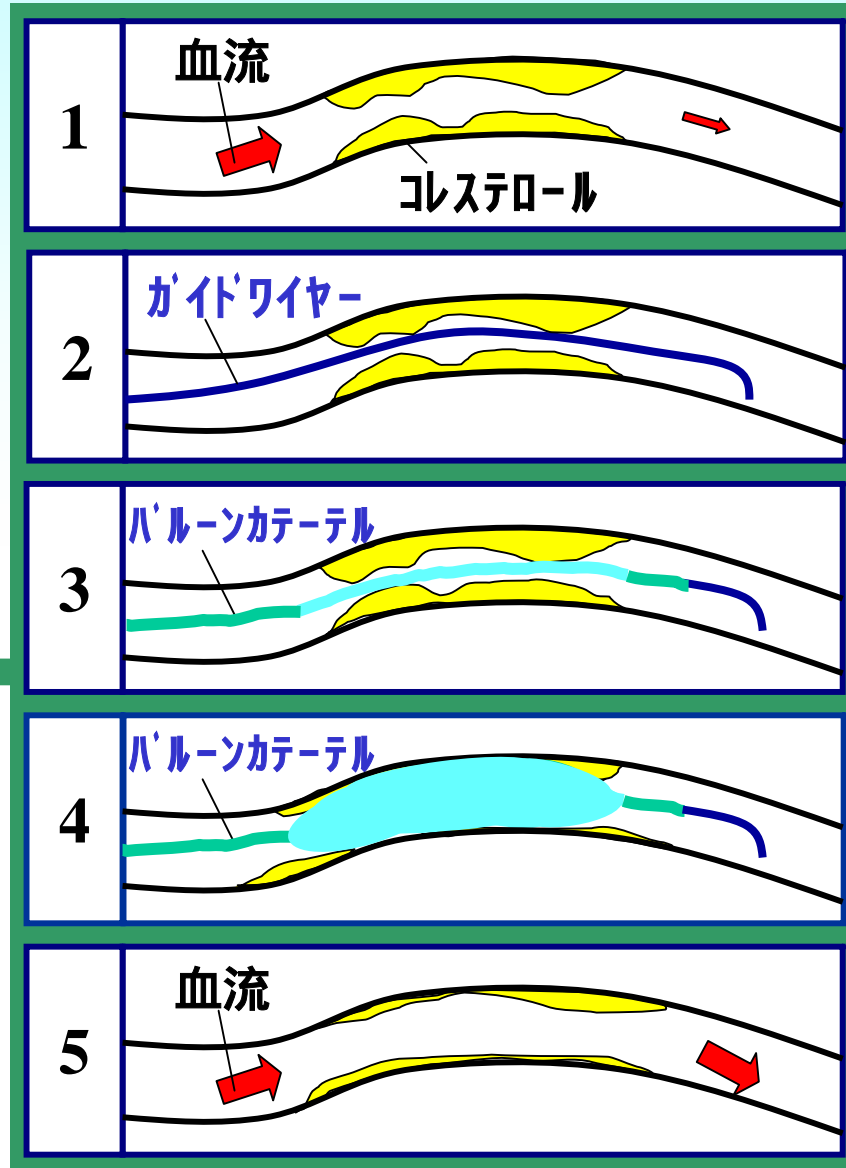
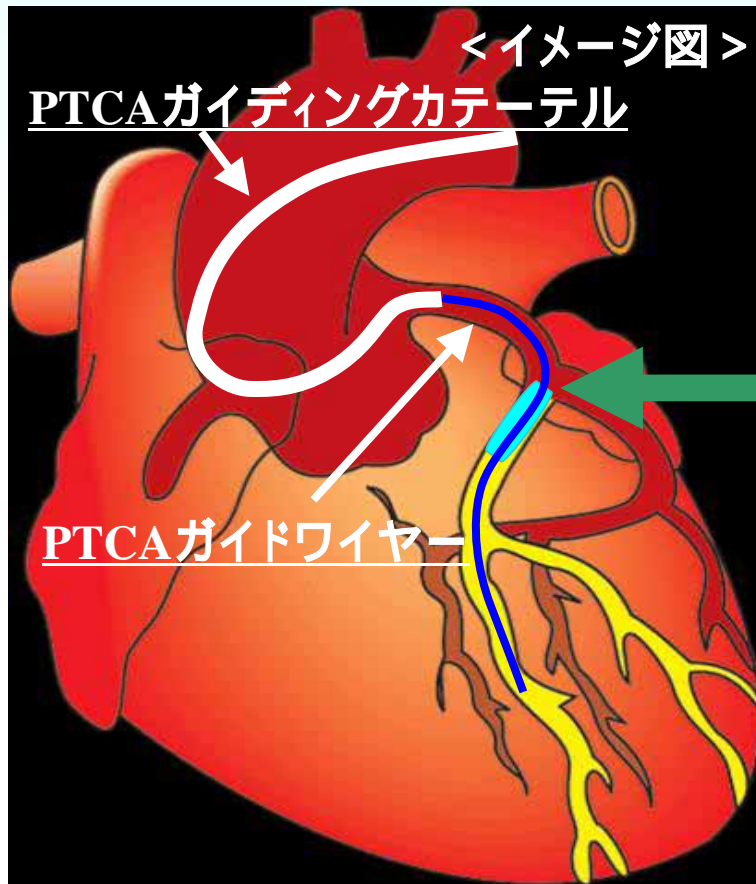


<内科的治療>
低侵襲治療 (PTCA治療)



PTCA (経皮的冠動脈形成術) とは

冠動脈疾患 (狭心症・心筋梗塞等)
の治療法
狭窄部を広げて血流確保



競争力の源泉：4つのコアテクノロジー

強度・線径コントロール



伸線技術

ミクロンレベルの成形



ワイヤー
フォーミング
技術

素材から製品までの
一貫生産体制

回転追従性



トルク技術

極薄膜コーティング



樹脂
コーティング
技術

目 次

1. 2005年6月期(中間)決算の概要

2. 2005年6月期(通期)業績見通し

3. 「中期経営計画06-08」

ご参考:当社に関する基礎資料

2005年6月期(中間)決算のポイント(連結)

● 売上高は前年同期比18.8%増と好調に推移

医療機器分野(メディカル事業、メディカルデバイス事業)の増収が主因

- ・ 主力製品であるPTCAガイドワイヤーが海外市場を中心に好調に推移
- ・ 医療部材(ACT ONE 関連製品)の売上が大幅に伸長

● 営業利益は前年同期比24.5%増、 経常利益も同31.4%増と二桁増益

増産による原価低減効果

高付加価値製品の売上増加に伴う収益性の向上

● 2005年6月期(通期)業績見通しを上方修正

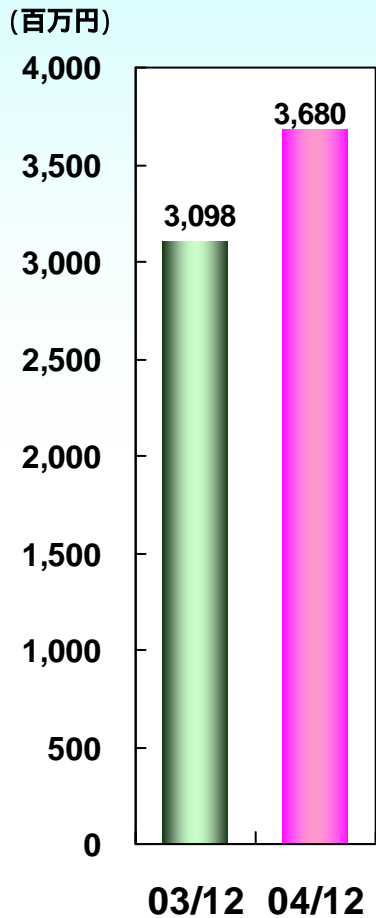
中間決算ハイライト(連結)

	2004年6月期 中間実績		2005年6月期 中間実績				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2004/8/24	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,098	100.0	3,558	3,680	100.0	+581	+18.8
売上総利益	1,621	52.3	-	2,053	55.8	+431	+26.6
営業利益	570	18.4	-	710	19.3	+140	+24.5
経常利益	490	15.8	564	644	17.5	+154	+31.4
当期純利益	349	11.3	353	404	11.0	+55	+15.9
E P S	191.59 円	-	-	57.02 円	-	-	-

(注) 期中平均株式数(連結) : 2004年6月期中間 1,824,355株 2005年6月期中間 7,101,843株

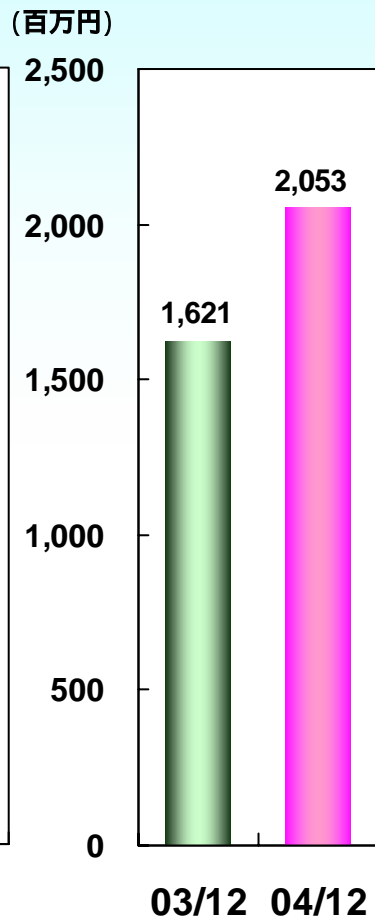
大幅な増収・増益を達成

【売上高】



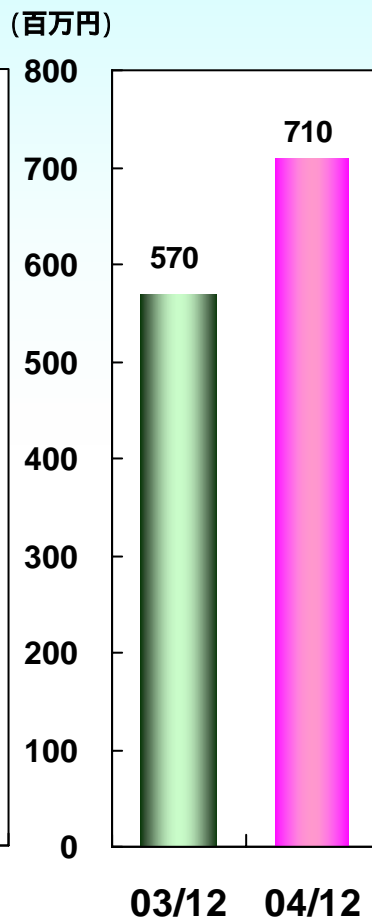
前年同期比581百万円増
(+18.8%)

【売上総利益】



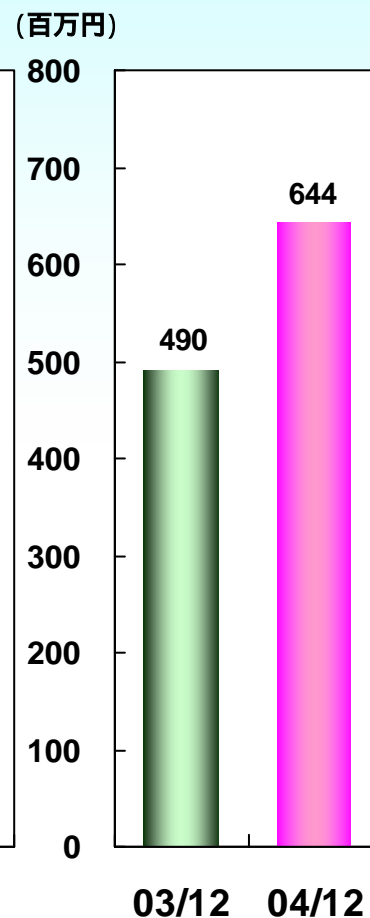
前年同期比431百万円増
(+26.6%)

【営業利益】



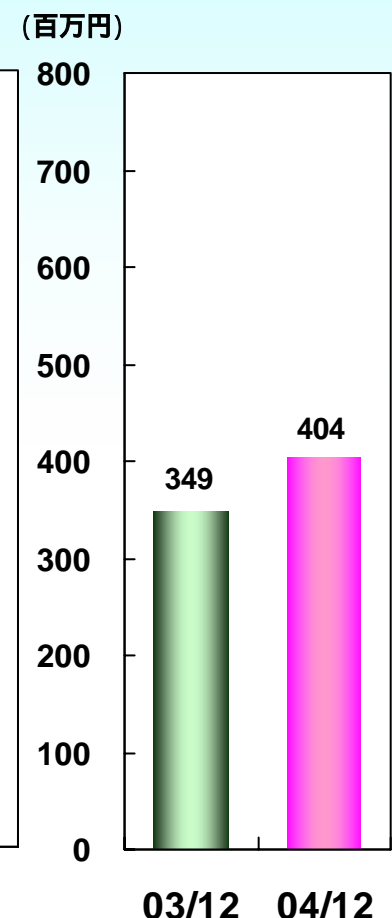
前年同期比140百万円増
(+24.5%)

【経常利益】



前年同期比154百万円増
(+31.4%)

【当期純利益】



前年同期比55百万円増
(+15.9%)

セグメント別売上高

	2004年6月期 中間実績		2005年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	1,229	39.7	1,704	46.3	+475	+38.7
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	651	21.0	777	21.1	+125	+19.3
<医療機器分野>	1,880	60.7	2,481	67.4	+601	+32.0
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	1,217	39.3	1,198	32.6	19	1.6
合計	3,098	100.0	3,680	100.0	+581	+18.8

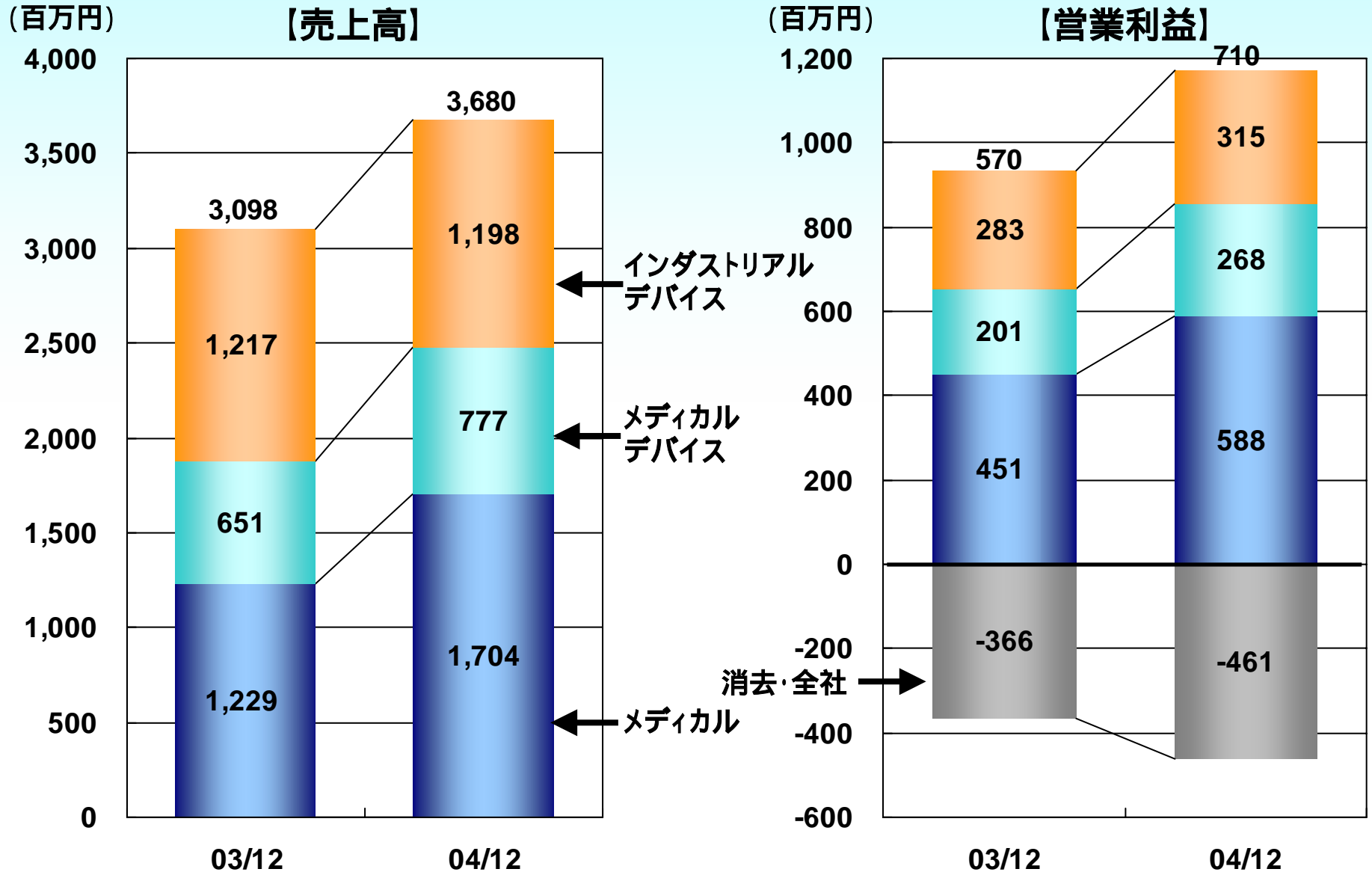
(注)2005年6月期より「スネア(高周波ポリープ切除用内視鏡処置具)」のセグメントを「メディカルデバイス事業」から「メディカル事業」に変更

セグメント別営業利益

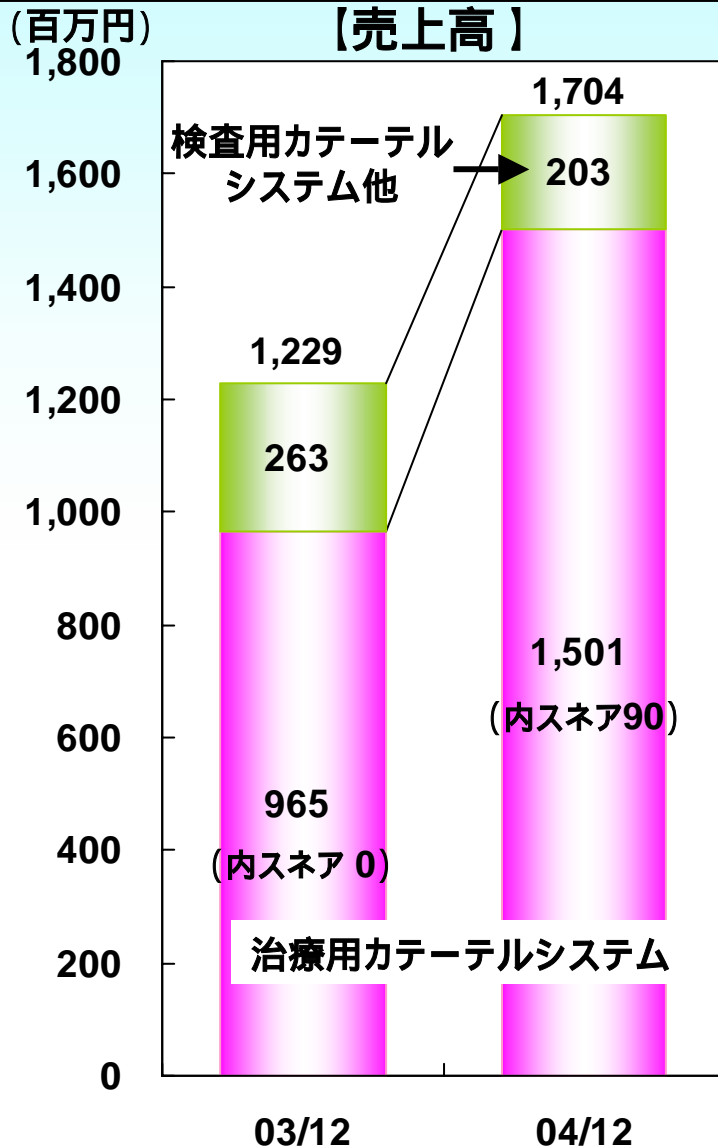
	2004年6月期 中間実績		2005年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	451	48.2	588	50.2	+136	+30.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	201	21.5	268	22.9	+66	+32.9
<医療機器分野>	653	69.7	856	73.1	+202	+31.0
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	283	30.3	315	26.9	+31	+11.3
計	937	100.0	1,172	100.0	+234	+25.1
消去・全社	-366	-	-461	-	-	-
合計	570	-	710	-	+140	+24.5

(注) 2005年6月期より「スネア(高周波ポリープ切除用内視鏡処置具)」のセグメントを「メディカルデバイス事業」から「メディカル事業」に変更

セグメント別の収益状況



メディカル事業の状況



～ 高付加価値製品の売上が拡大～

〈治療用カテーテルシステム〉

■ PTCAガイドワイヤー (前年同期比46%増) が牽引

- 米国を中心に各国で薬剤ステントの普及拡大に伴い、PTCA治療件数も拡大傾向
- 国内外の学会発表等により製品優位性の認知度が高まり、売上増加
- アボット社との独占販売代理店契約を当初の契約期間2年から5年間(～2009年12月)に延長

■ 国内市場では新製品の販売開始が売上に寄与

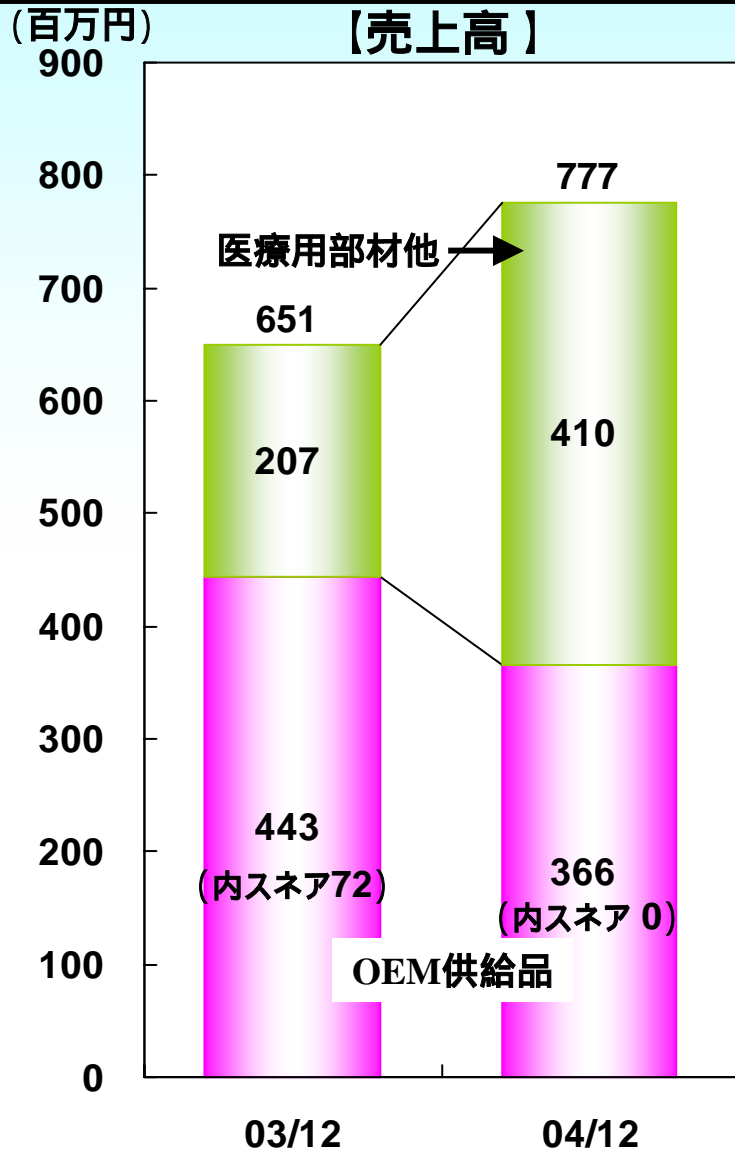
- PTCAガイドワイヤーの新製品「Fielder」

〈検査用カテーテルシステム〉

■ 競合品との競争激化の影響を受け減収

(注) 「検査用カテーテルシステム他」には「連結調整勘定(03/12期 10百万円、04/12期 33百万円)」が含まれている

メディカルデバイス事業の状況



～ 医療用部材の売上が大幅に伸長～

〈医療用部材〉

- 内視鏡関連製品の受注増加
 - 大手取引先の海外展開が好調
 - 当社トルク技術製品の採用増加
- ケーブルチューブ「ACT ONE」が大幅伸長
 - 医療機器部材としての使用機会が増加

〈OEM供給品〉

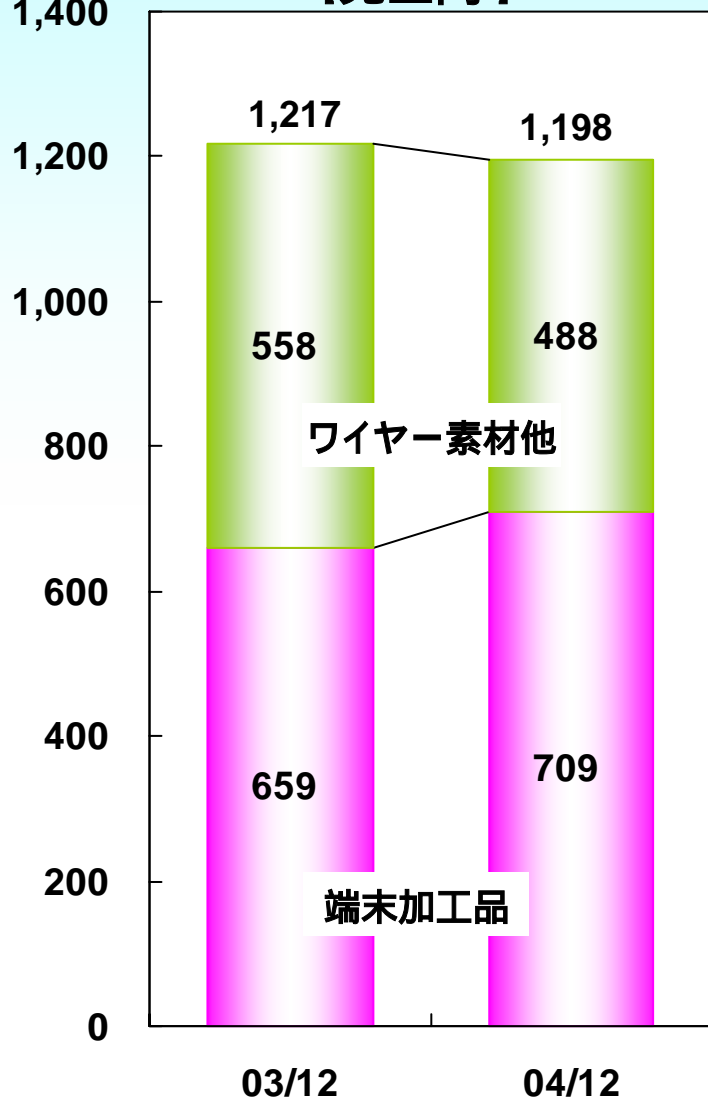
- 国内大手医療機器メーカー向けOEMが堅調
 - 検査用カテーテルが販路拡大に伴い好調に推移
- 世界的メディカル企業へのOEM供給に一服感
 - 肝臓ガン治療用ガイドワイヤー等は市場への浸透が安定期入りし、若干の売上減少

(注) 「医療用部材他」には「連結調整勘定(03/12期 9百万円、04/12期 9百万円)」が含まれている

インダストリアルデバイス事業の状況

(百万円)
1,400

【売上高】



～ 端末加工品の売上構成が高まる～

〈端末加工品〉

■ OA機器関連製品は縮小するも売上は堅調

- 液晶関連市場の売上が大幅に増加
- レーザープリンター用チャージワイヤーが増加

〈ワイヤー素材〉

■ 自動車関連製品の売上が減少

- 自動車メーカーの海外調達比率の上昇
- 電子スロットル化の影響

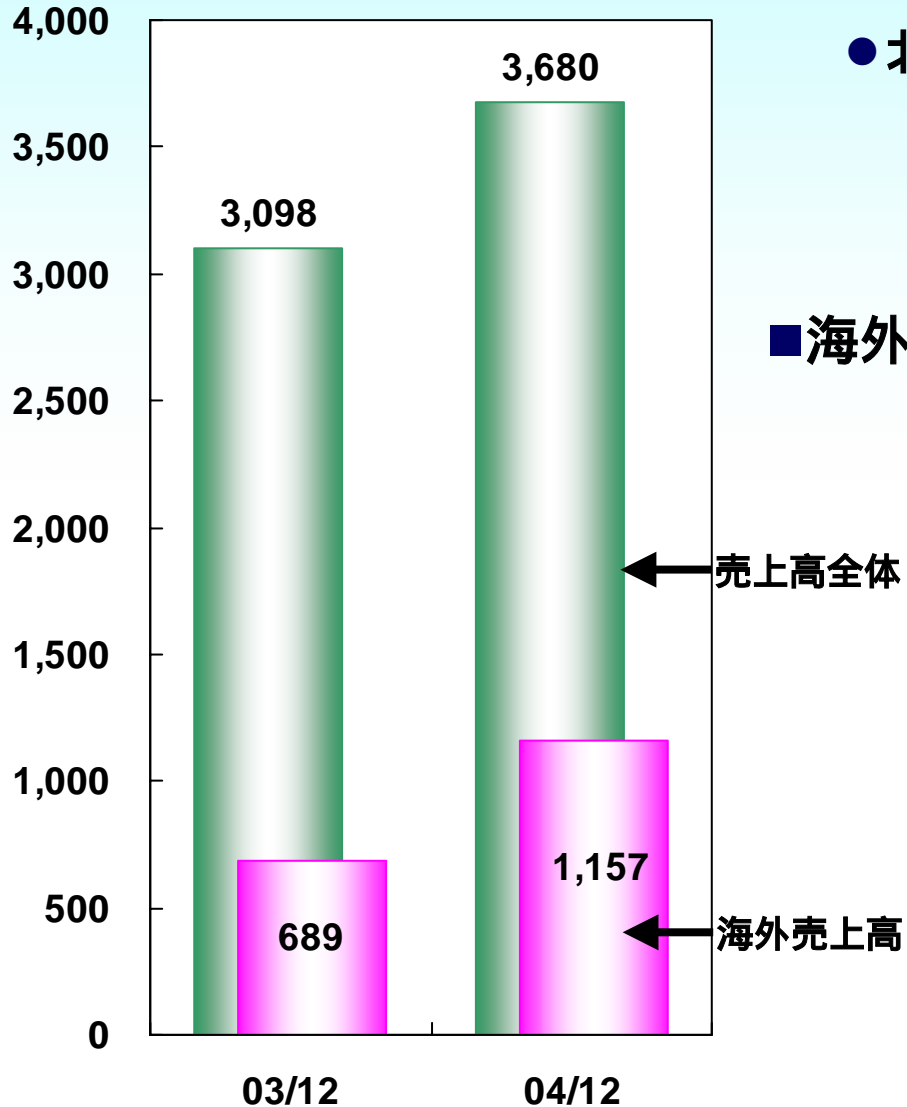
■ 新分野・新市場向け製品の受注は好調

- 高付加価値ハイテンションワイヤーを用いた鮎釣り糸
- 高圧ホース向けの線材

(注) 「ワイヤー素材他」には「連結調整勘定(03/12期 27百万円、04/12期 47百万円)」が含まれている

海外売上高の状況

(百万円) 【海外売上高の推移】

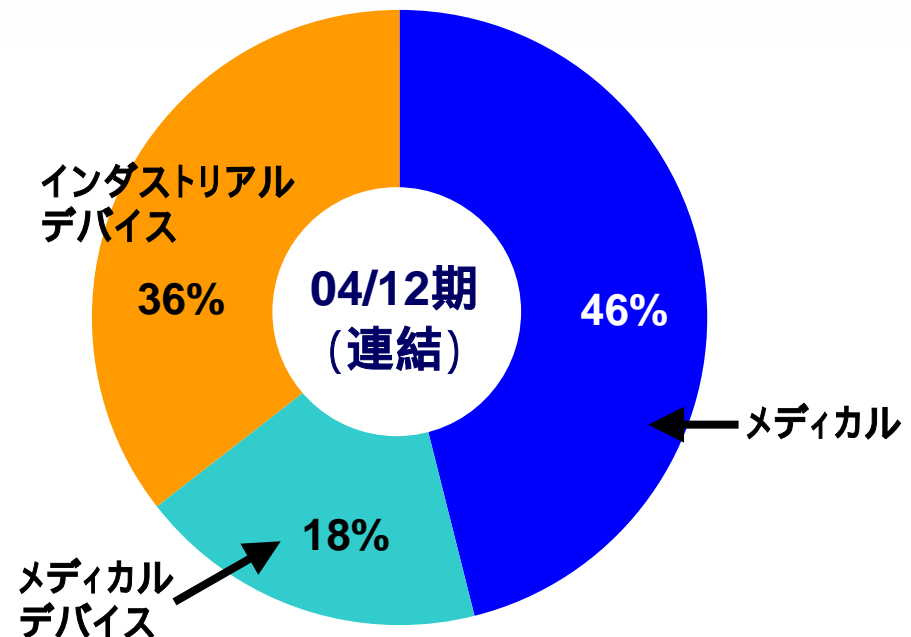


■海外売上高は4.6億円増加(前年同期比68%増)

●北米の売上が3.5億円増加(前年同期比4.7倍)

・PTCAガイドワイヤー、
及びACTONEの海外販売が好調

■海外売上比率は31%(前年同期22%)に上昇
【海外売上高のセグメント別構成比】

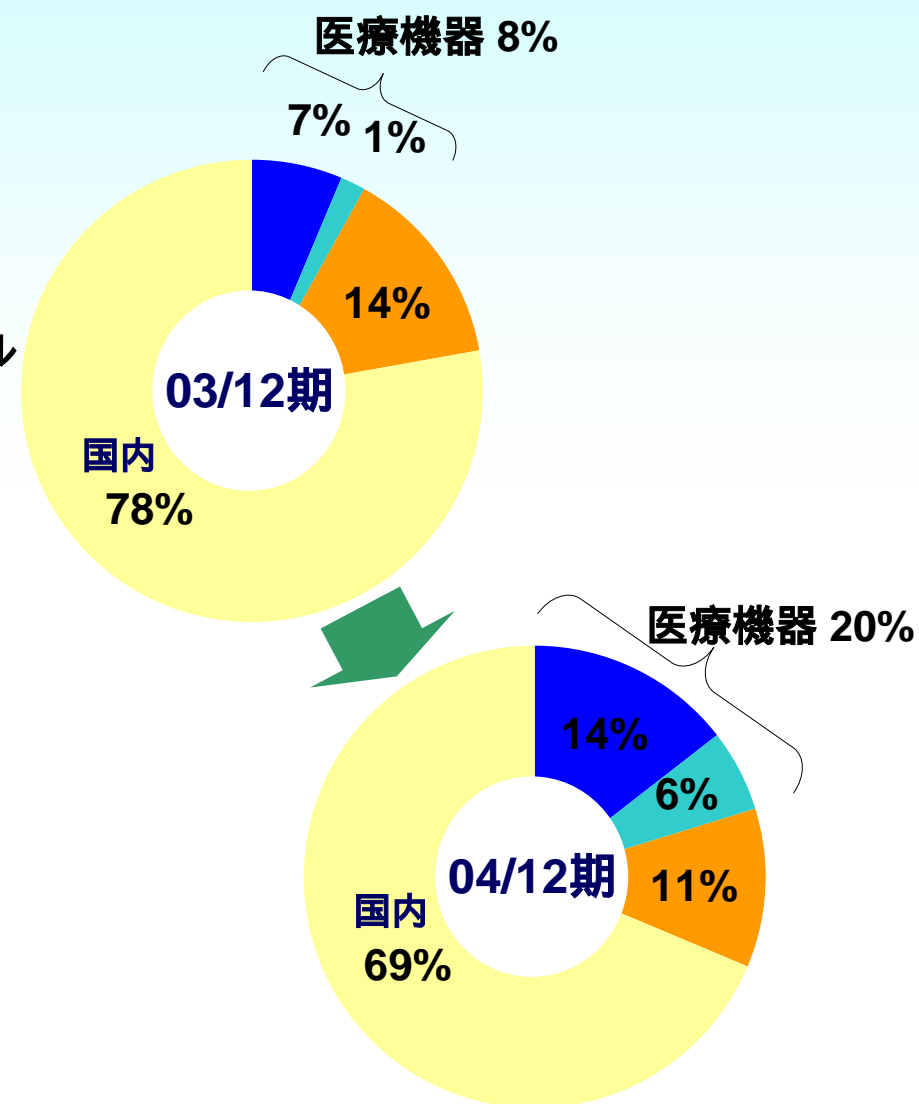
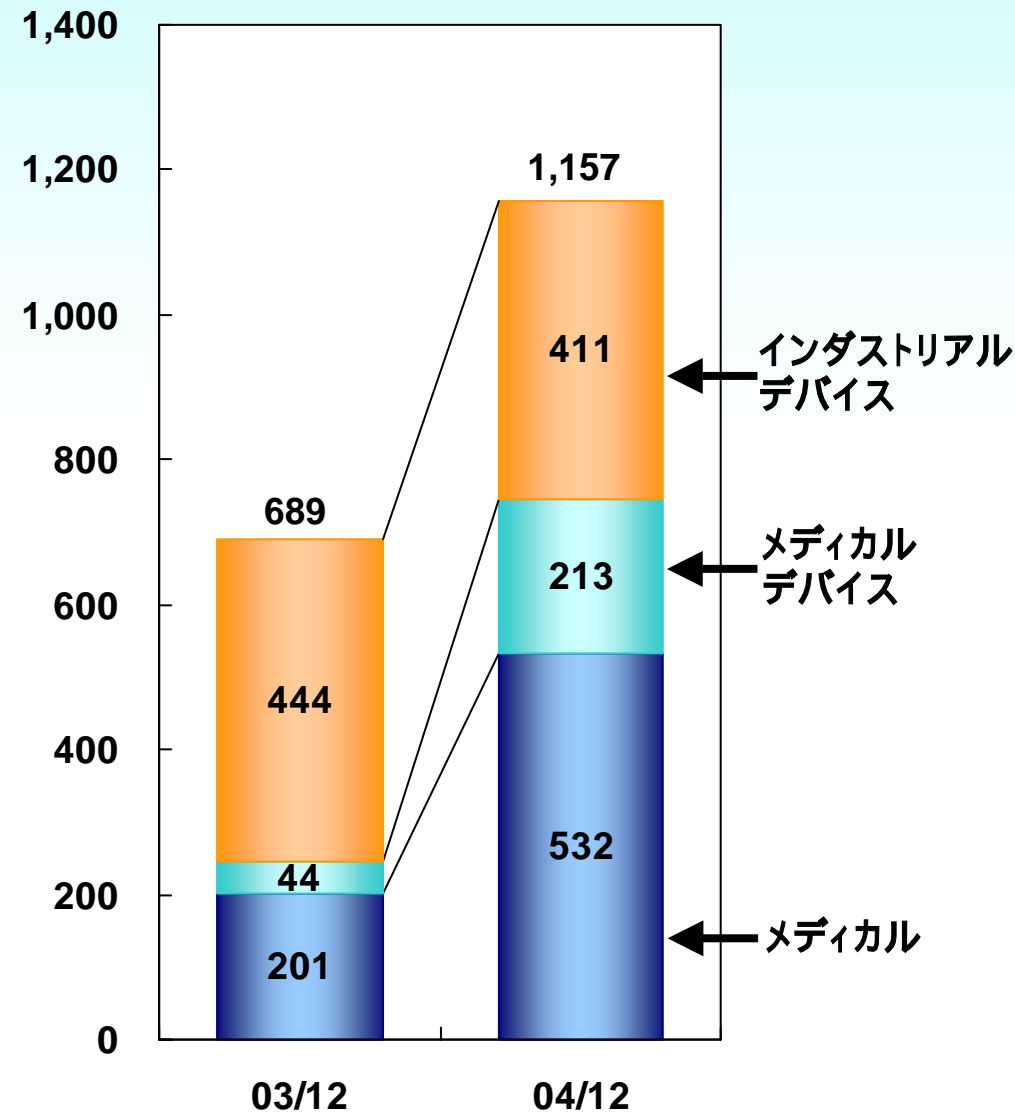


海外売上高の状況(セグメント別)

(百万円)

【海外売上高】

【連結売上高に占める割合】



損益の状況(連結)

	2004年6月期 中間実績		2005年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	3,098	100.0	3,680	100.0	+581	医療機器分野の増収 +601
売上原価	1,476	47.7	1,626	44.2	+150	海外工場(タイ)での増産効果等 による売上原価率低減
売上総利益	1,621	52.3	2,053	55.8	+431	高付加価値品の売上拡大
販管費	1,051	33.9	1,342	36.5	+291	研究開発費の増加 +69
営業利益	570	18.4	710	19.3	+140	
営業外収益	5	0.2	9	0.3	+3	受取保険返戻金の増加 +2
営業外費用	86	2.8	76	2.1	10	為替差損の減少 26
経常利益	490	15.8	644	17.5	+154	
特別利益	6	0.2	0	0.0	6	貸倒引当金戻入金の減少 6
特別損失	11	0.3	2	0.1	8	固定資産除却損の減少 9
中間純利益	349	11.3	404	11.0	+55	

財務の状況(連結)

	2004年6月期 期末実績		2005年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	6,830	61.0	6,387	56.5	442	現預金の減少 767 売上債権の増加 +265
固定資産	4,364	39.0	4,914	43.5	+549	有形固定資産の増加 +421 その他投資の増加 +131
資産合計	11,194	100.0	11,302	100.0	+107	
流動負債	2,717	24.3	2,709	24.0	8	仕入債務の減少 73 短期借入金の減少 94
固定負債	2,694	24.0	2,328	20.6	366	長期借入金の減少 364
負債合計	5,412	48.3	5,037	44.6	374	
資本合計	5,782	51.7	6,264	55.4	+482	資本金・利益剰余金の増加 +225 利益剰余金の増加 +259
負債・資本合計	11,194	100.0	11,302	100.0	+107	

中間連結キャッシュ・フローの状況

(百万円)

3,500

3,000

2,500

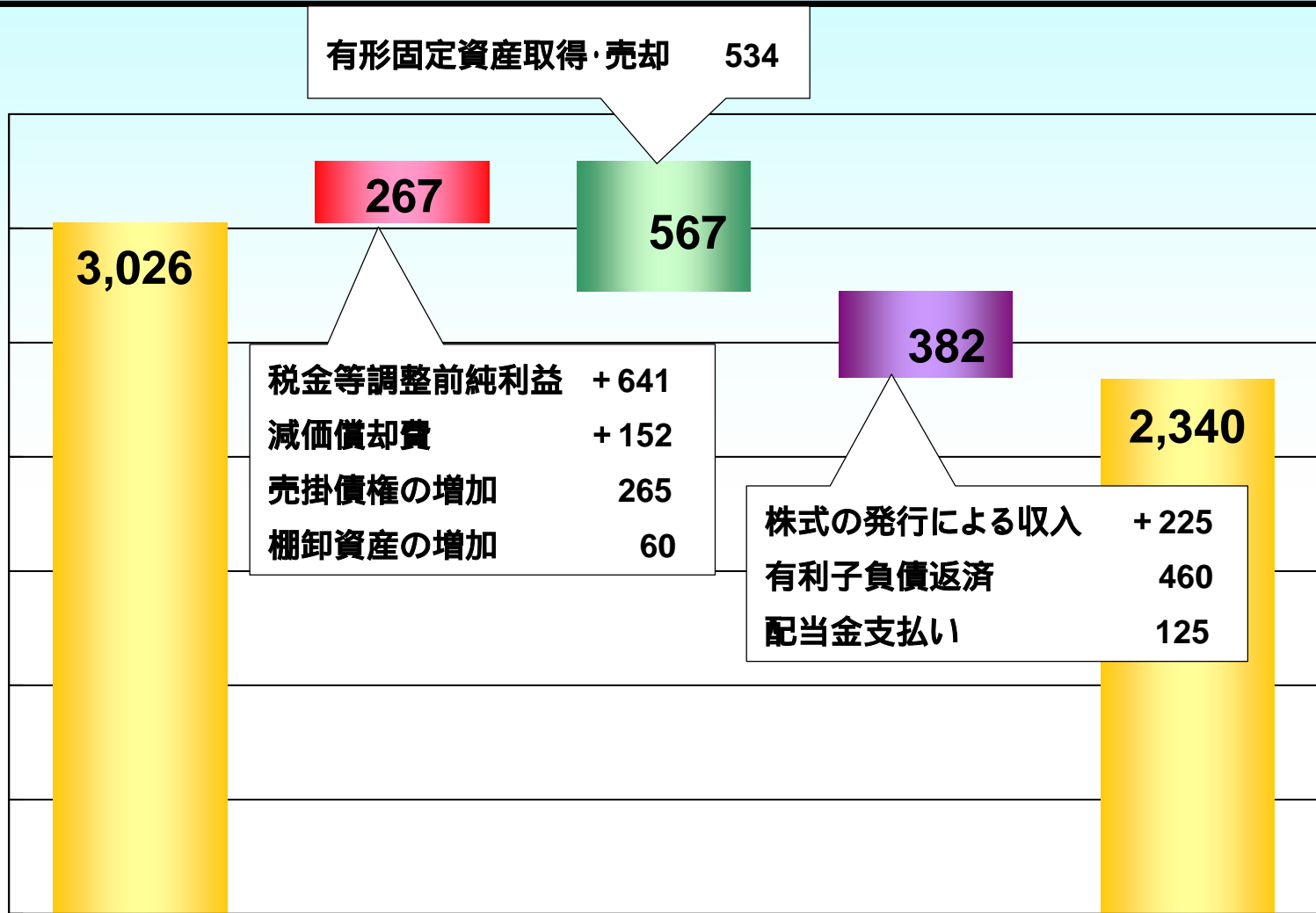
2,000

1,500

1,000

500

0



04/6期末
現金(同等物)残高

営業活動

投資活動

財務活動

04/12期末
現金(同等物)残高

ご参考：中間決算ハイライト(単体)

	2004年6月期 中間実績		2005年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,090	100.0	3,849	100.0	+758	+24.6
売上総利益	1,301	42.1	1,719	44.7	+417	+32.1
営業利益	361	11.7	525	13.7	+163	+45.2
経常利益	289	9.3	472	12.3	+183	+63.3
当期純利益	214	6.9	303	7.9	+88	+41.1
総資産	9,982	100.0	10,946	100.0	+964	+9.7
資本合計	4,207	42.1	5,896	53.9	+1,688	+40.1

目 次

1. 2005年6月期(中間)決算の概要

2. 2005年6月期(通期)業績見通し

3. 「中期経営計画06-08」

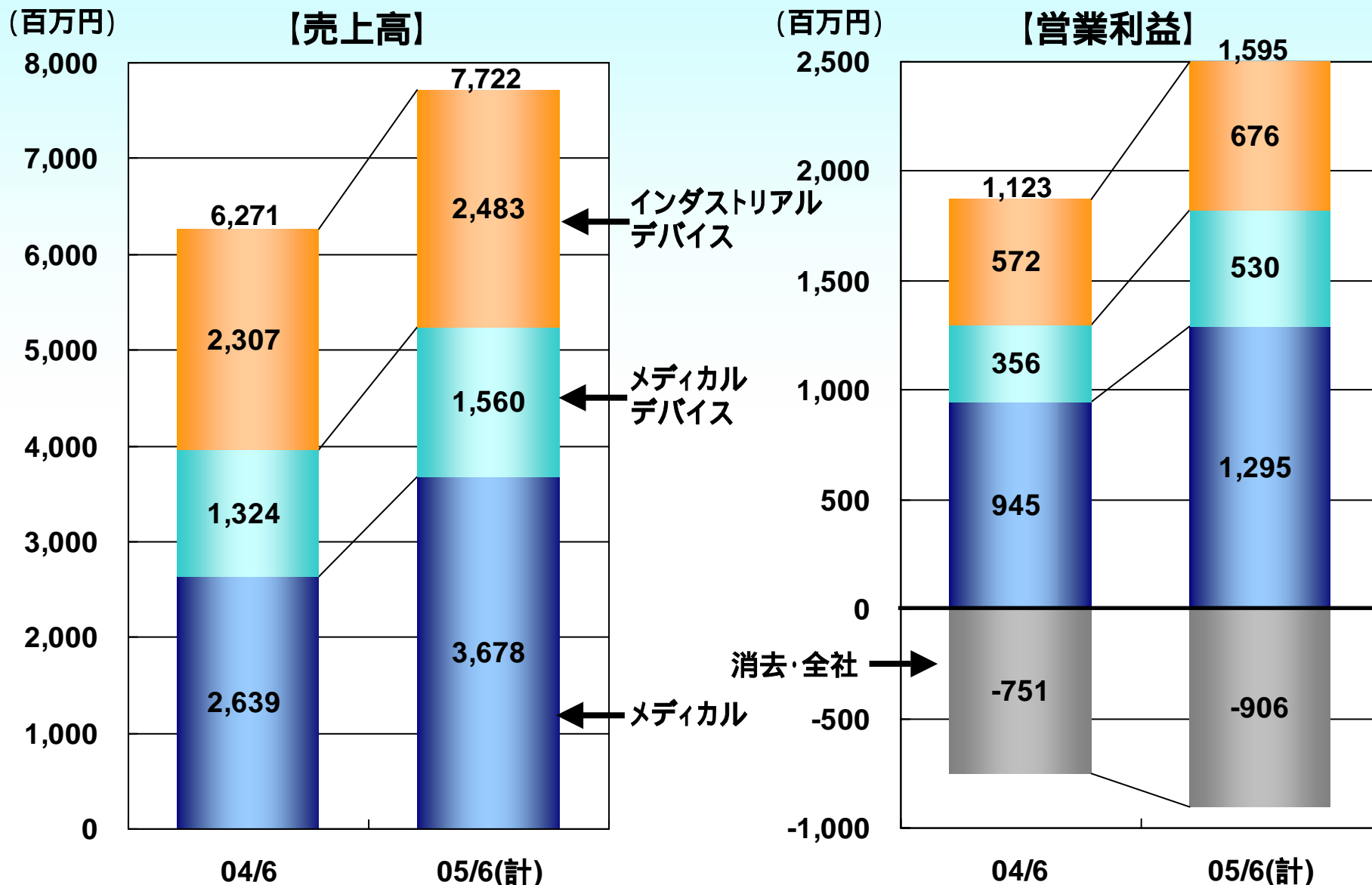
ご参考:当社に関する基礎資料

2005年6月期業績見通し(連結)

	2004年6月期 実績		2005年6月期 計画				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2004/8/24	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	6,271	100.0	7,381	7,722	100.0	+1,450	+23.1
売上総利益	3,290	52.5	4,011	4,340	56.2	+1,049	+31.9
営業利益	1,123	17.9	1,388	1,595	20.7	+472	+42.0
経常利益	995	15.9	1,269	1,460	18.9	+464	+46.6
当期純利益	693	11.1	803	968	12.5	+274	+39.5
E P S	114.76 円	-	112.97 円	136.07 円	-	-	-

(注) 1株当たり予想当期純利益(通期)は、2004年7月1日付 公募増資700,000株及び2004年7月31日付 第三者割当増資150,000株を考慮した普通株式期中平均株式数(連結)7,113,971株にて算出

セグメント別の収益見通し



目 次

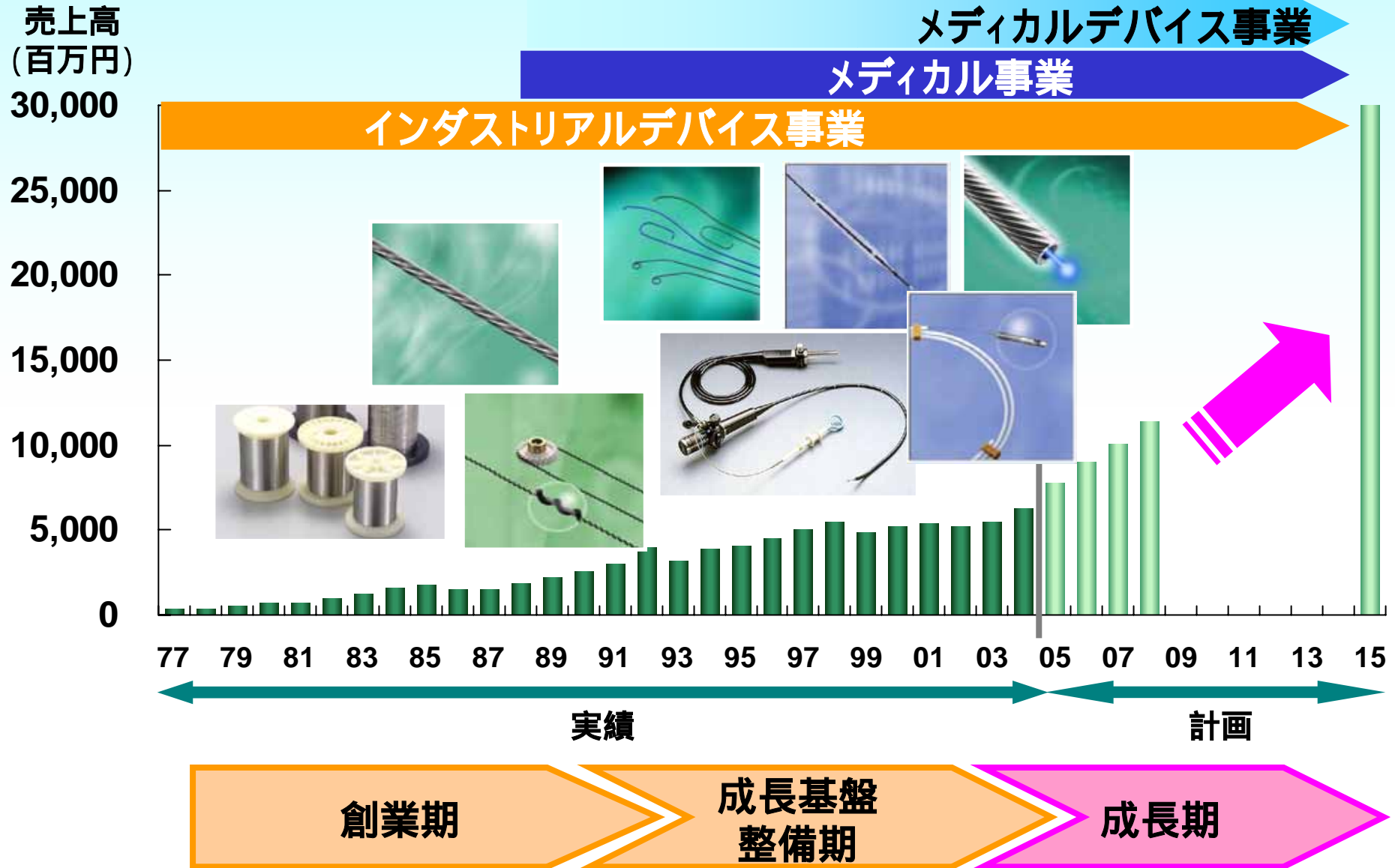
1. 2005年6月期(中間)決算の概要

2. 2005年6月期(通期)業績見通し

3. 「中期経営計画06-08」

ご参考:当社に関する基礎資料

「成長基盤整備期」を経て「成長期」へ



長期経営構想

「ASAHI INTECC SUCCESS 300」

～ 2005年7月から2015年6月迄の10年間～

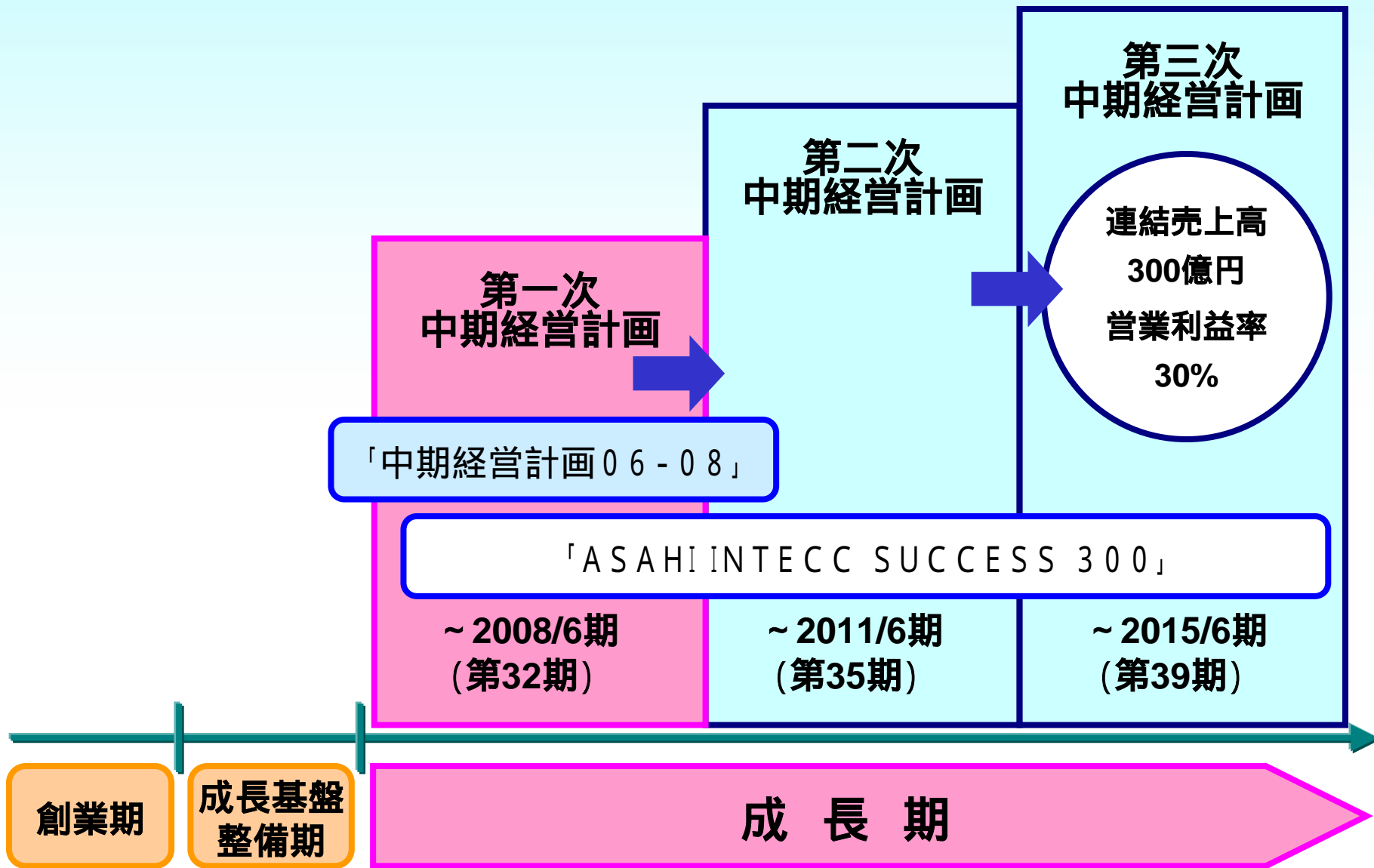
～ 持続的に安定した成長と高収益体質の確立・向上～

低侵襲治療製品の普及を日本から世界へ積極的に発信し、
全世界の患者のQOL (Quality of Life) を高めると同時に、
全世界での「ASAHIブランド」の確立を図る



2015年度：連結売上高300億円、営業利益率30%

長期経営構想のフレームワーク



中期経営計画

「中期経営計画06-08」

～医療機器分野を中心に収益拡大～

グローバル展開の加速化と患部領域の拡大

素材研究の追及による次世代キーデバイスの開発・拡大

ローコストオペレーションの推進(海外子会社工場の強化・確立)

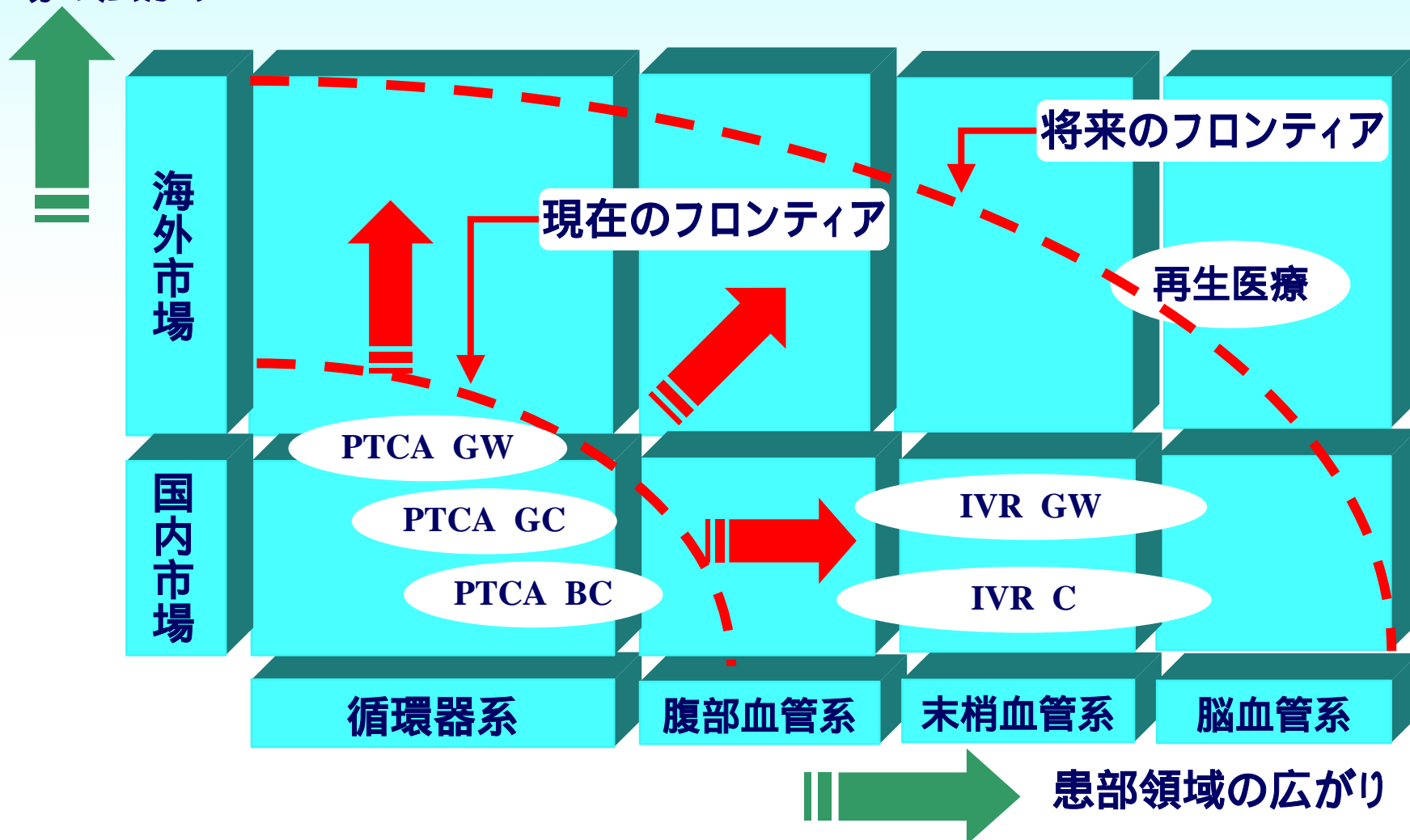
次世代最先端医療デバイスの開発



2008年6月期：連結売上高113億円、営業利益25億円

グローバル展開の加速化と患部領域の拡大 - 1

製品ラインナップの充実：循環器系疾患を中心に患部領域を拡大
市場の広がり



グローバル展開の加速化と患部領域の拡大 - 2

全世界での「ASAHIブランド」の確立を図る

海外販売代理店との契約締結 (米アボットラボラトリーズ社 etc)
(海外薬事、特許対応等をクリア)

【海外販売代理店のネットワーク】



素材研究の追及による次世代キーデバイスの開発・拡大 - 1

次世代キーデバイス：「ACT ONE」

コアテクノロジー
の結集

伸線技術

ワイヤー
フォーミング
技術

トルク技術

競争優位性

耐屈曲性

トルク性

耐圧縮性

中空構造の
ケーブルチューブ

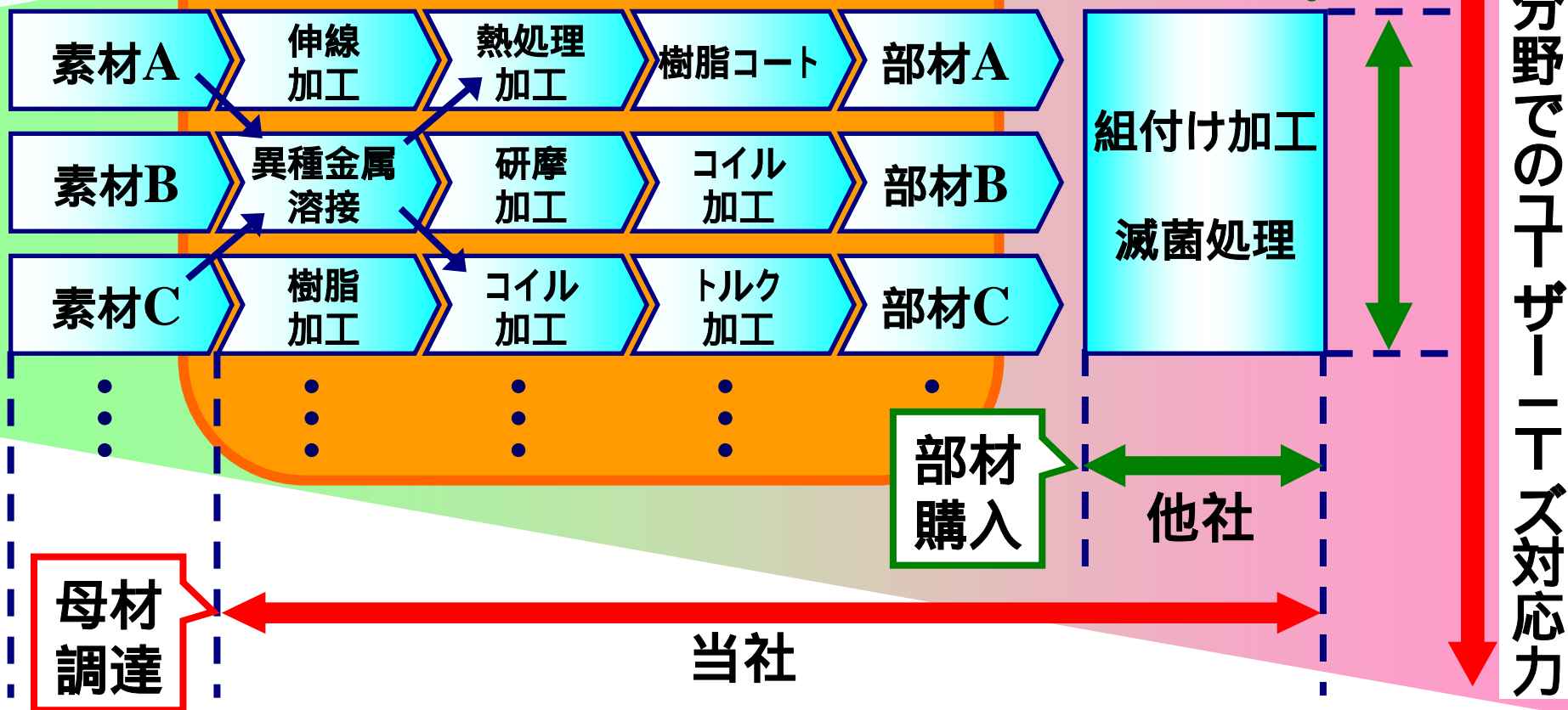
復元性

多様なデバイスとの組合せが可能
幅広い治療領域に対応が可能



素材研究の追及による次世代キーデバイスの開発・拡大-2

産業機器分野で培われる 「高度な素材加工技術」



大阪 R & D センター 設立

～ 「素材からの一貫生産体制による市場優位性」をより強固に～

- 事業内容：低侵襲治療製品を中心とした素材研究
及び次世代の最先端医療デバイスの開発
- 竣工予定時期：2006年7月
- 第一期総投資額：約930百万円
- これに伴い「大阪高石工場」、「和泉工場」は順次集約

「素材研究の追及」と
「次世代の最先端医療デバイスの開発力」を更に向上

ローコストオペレーションの推進 (海外子会社工場の強化・確立) - 1

現状：海外主要生産拠点



【タイ・メディカル工場】
(メディカル製品 / メディカルデバイス製品)

【タイ・デバイス工場】
(インダストリアル製品)

タイ工場への生産(量産)移管の最大化が完了

課題：第二の海外生産拠点

生産能力の拡張

ローコストの追求

リスク分散の必要性

ベトナムに第二の海外生産拠点を設立

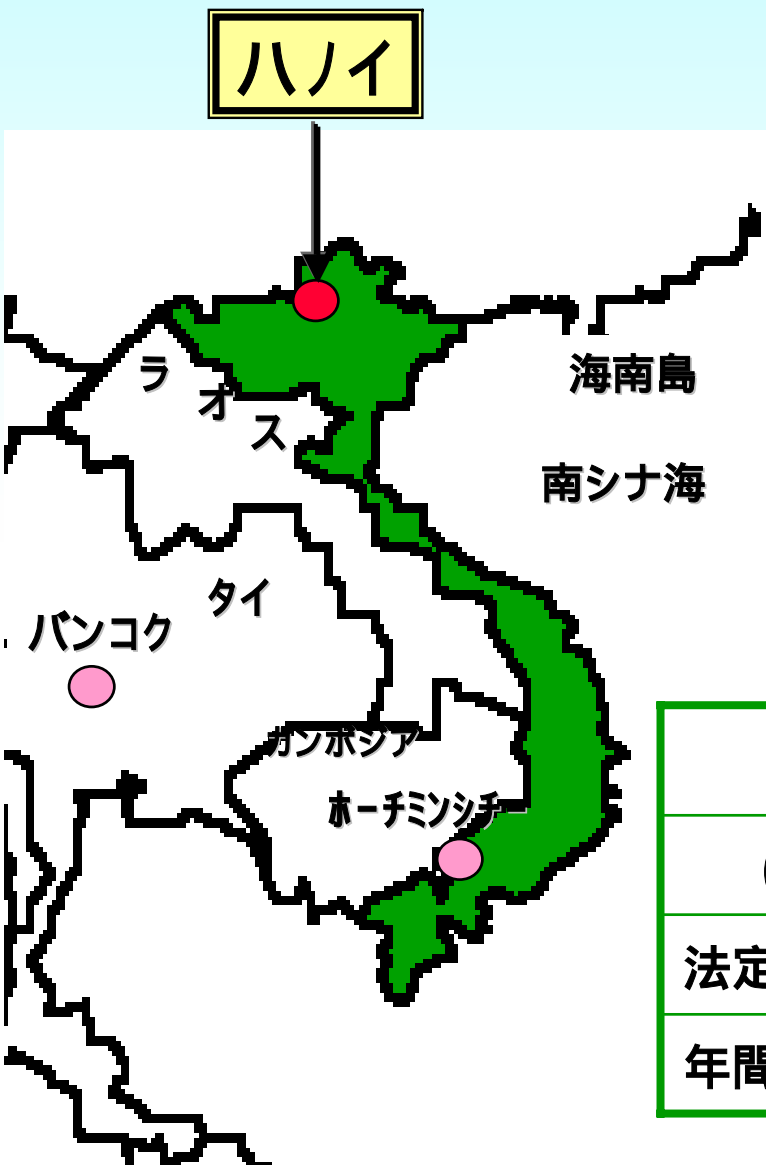
～ 国内及び海外での販売量拡大に伴い生産能力の更なる拡張～

- 商号:「ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.」(100%連結子会社)
- 事業内容:医療機器製品及び産業機器製品等の製造・販売
- 設立予定時期:2005年7月1日
- 本店所在地:ベトナム ハノイ市 タンロン工業地内
- 資本金:500万USドル(約5億円)
- 生産開始予定:2007年1月
- 第一期総投資額:約870百万円

ローコストオペレーションの追求

タイ一国集中のリスクを分散

ローコストオペレーションの推進 (海外子会社工場の強化・確立) - 3



ベトナム(ハノイ)選定の理由

- **労働力(勤勉、優秀、低コスト)**
 ~ 高い生産性と低い生産コスト ~
- **有利な投資優遇策**
 ~ コスト低減 ~
 税率: 事業開始後15年間10%、その後28%
 タックスホリデー: 4年間免税、7年間半免

国	ベトナム	タイ	中国
(地域)	(ハノイ)	(バンコク)	(北京)
法定最低賃金	36米ドル	113米ドル	56米ドル
年間祝祭日数	8日	13日	12日

(注)ベトナムの法定最低賃金は「ハノイ市のタンロン工業地域周辺」

ローコストオペレーションの推進 (海外子会社工場の強化・確立) - 4

【タンロン工業地域】

メリット

利便性

- 空港から近いこと
- タイとのアクセス良好

ベトナム新工場

- 土地面積: 36,664㎡
- 第1工場面積: 5,000㎡2階建
(延床面積約10,000㎡)



4. 次世代最先端医療デバイスの開発

次世代治療に対する社会的ニーズ

「高齢化による諸疾患の増加」、「患者様のQOLの向上」、「医療費の抑制」

再生医療デバイス(患部に細胞やゲノムを含む薬液を注入)の事業化

- 大阪大学等との産官学共同により開発推進
- 神戸先端医療センターエリアに「リサーチセンター」を設置(2002年)
- 現在、「経皮的冠動脈細胞注入デバイス」の設計・試作が完了
- 今後は動物実験、臨床治験等を経て、早期の承認・販売開始を目指す

【神戸リサーチセンター】

次世代低侵襲型治療技術の開発

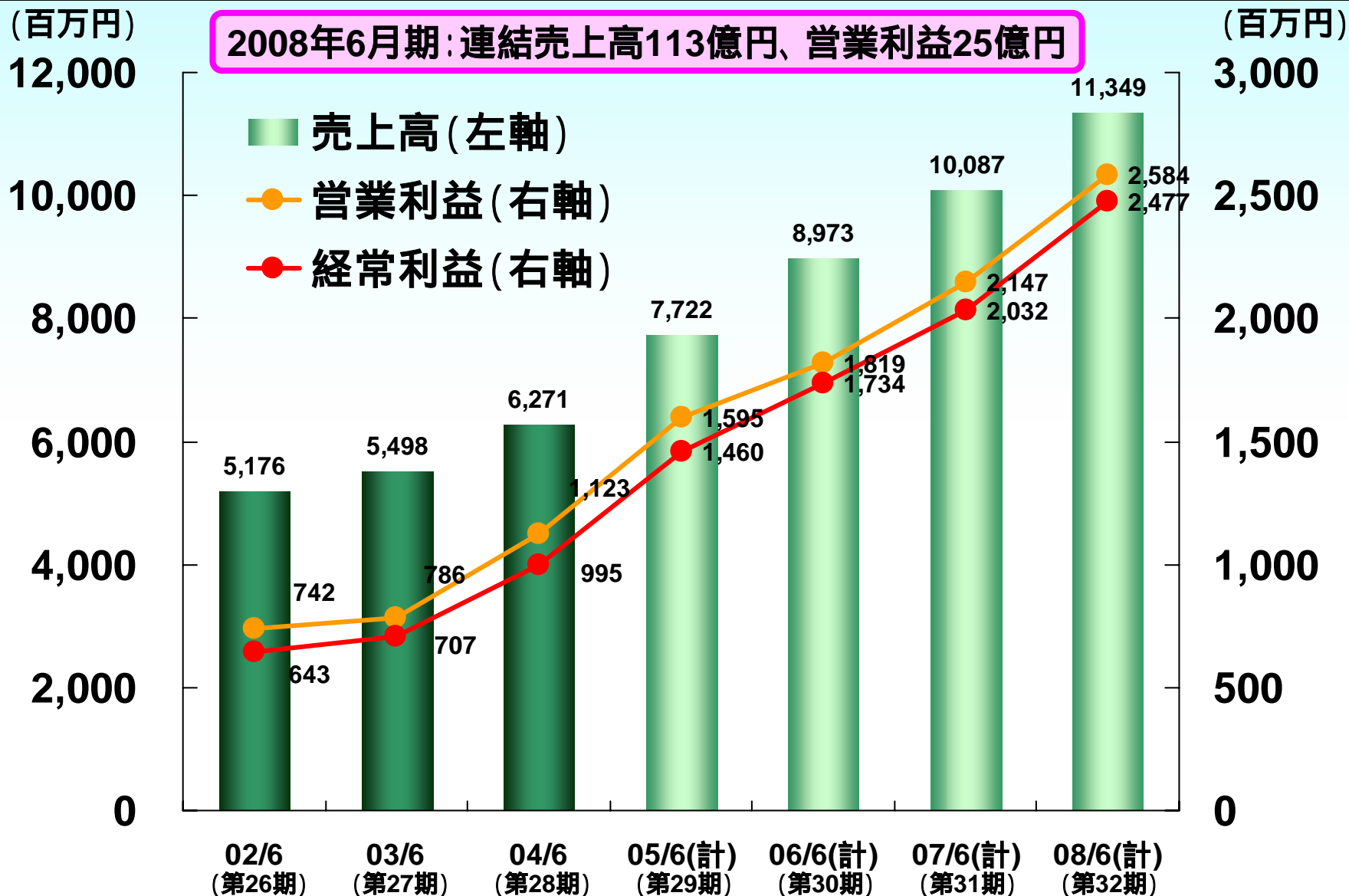
- 産官学共同研究開発推進体制の充実
- グローバルな視野での最先端ニーズの探索



次世代ビジネスのシーズ発見・商品化



「中期経営計画06-08」の収益目標



セグメント別売上計画

(百万円)
12,000

10,000

8,000

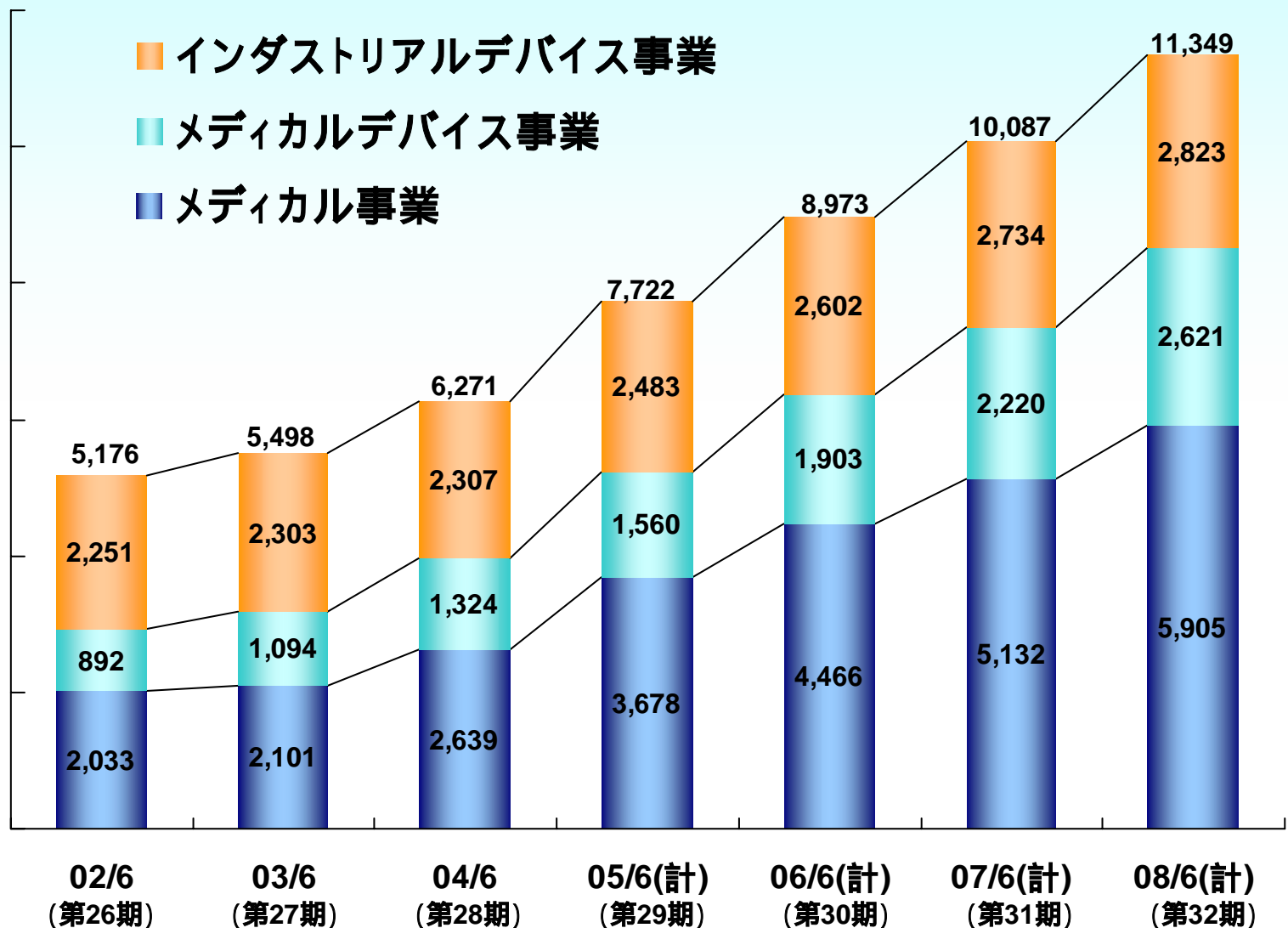
6,000

4,000

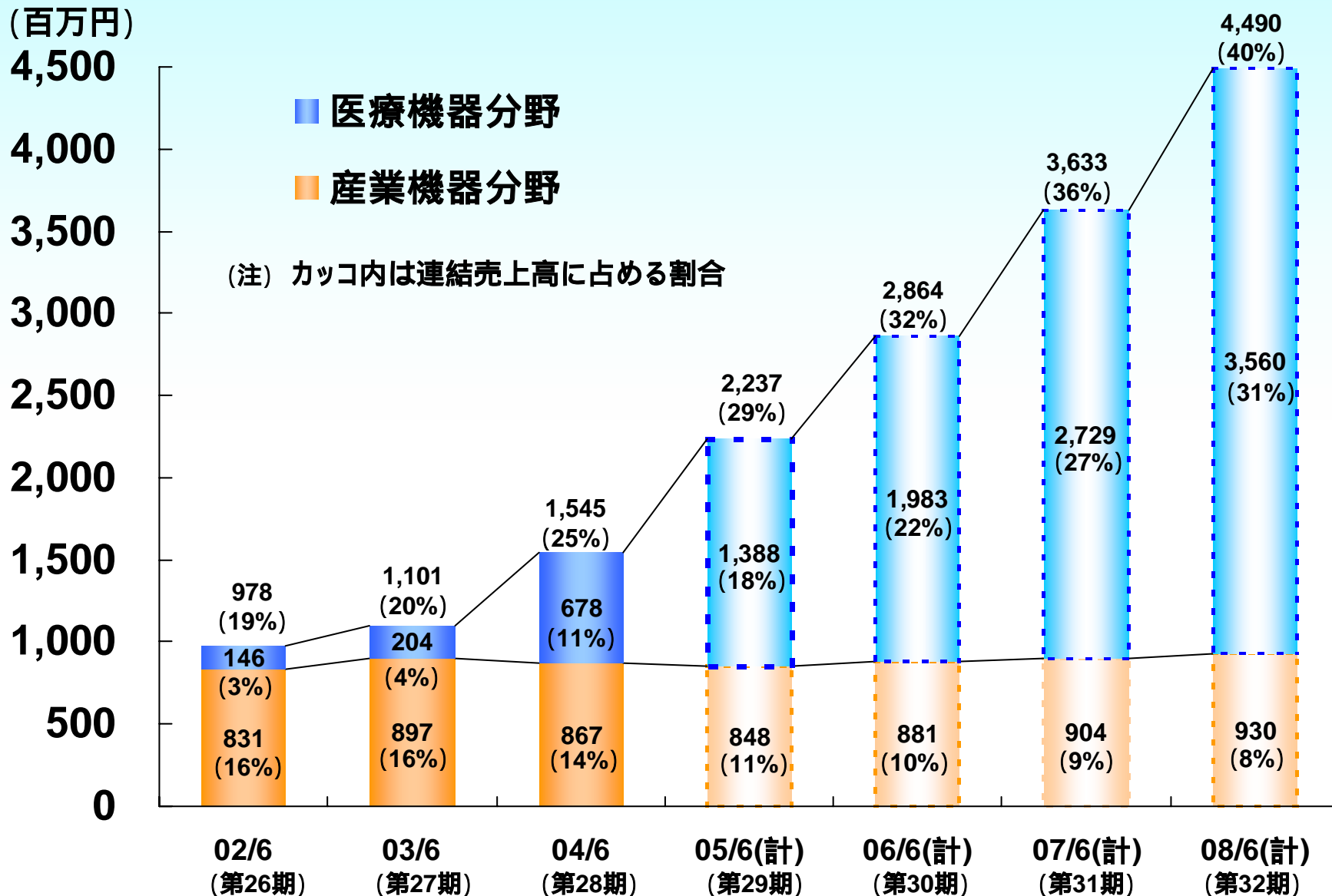
2,000

0

- インダストリアルデバイス事業
- メディカルデバイス事業
- メディカル事業



海外売上の実績及び計画




本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



 朝日インテック株式会社

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>